

米国シアトル市地下トンネル 世界最大シールド掘進機
(口径17.45m)

日立造船株式会社

2012年度 決算説明会

Hitz
Hitachi Zosen

平成25年5月10日
Hitz日立造船株式会社
取締役会長兼CEO 古川実

1. 2012年度連結決算概況
2. 2013年度業績見通し
3. セグメント別詳細
4. 中期経営計画「Hitz Vision」の進捗状況

1. 2012年度連結決算概況

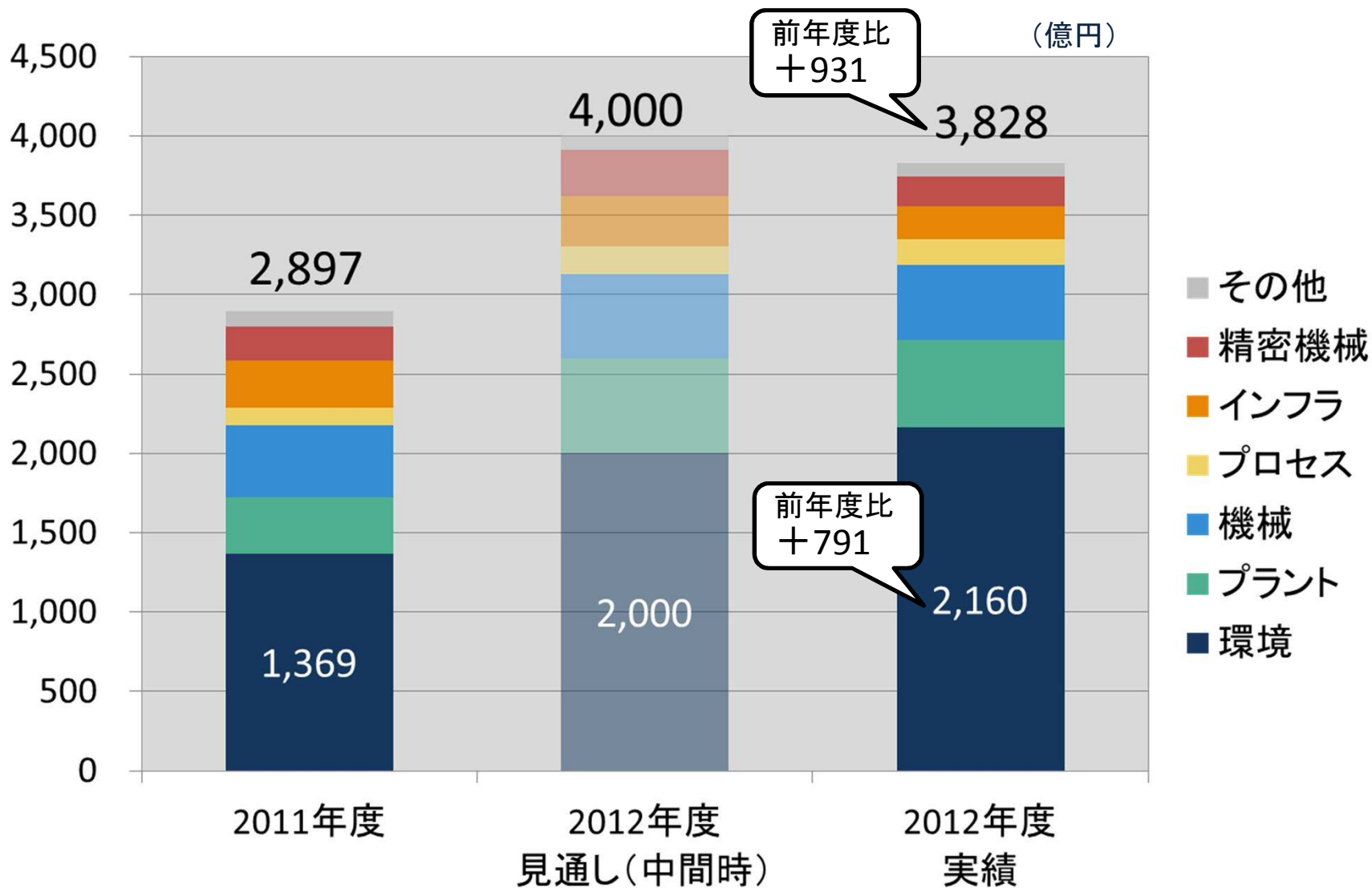
- 受注高、経常利益において、前年度を上回ったこと
- 環境部門では受注高、売上高、営業利益で前年度を上回り、特に受注高は大幅な増加となったこと

2012年度決算 実績サマリー

(億円)

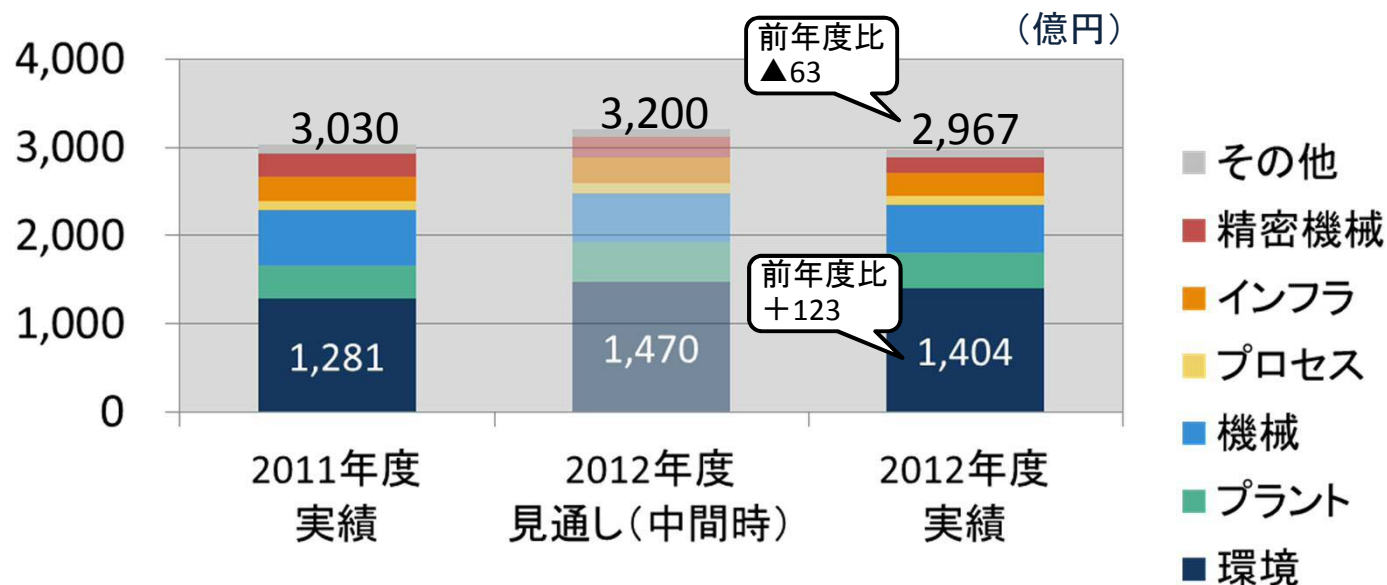
	2011年度	2012年度		比較	
		見通し (中間時)	実績	対前年度	対見通し
受注高	2,897	4,000	3,828	931	▲172
売上高	3,030	3,200	2,967	▲63	▲233
営業利益	113	128	113	0	▲15
(営業利益率)	3.7%	4.0%	3.8%	0.1%	▲0.2%
営業外損益	▲6	▲18	▲1	5	17
経常利益	107	110	112	5	2
(経常利益率)	3.5%	3.4%	3.8%	0.3%	0.4%
特別損益	16	—	▲25	▲41	—
税金費用・ 少数株主損益	▲30	—	▲13	17	—
当期純利益	93	90	74	▲19	▲16
(純利益率)	3.1%	2.8%	2.5%	▲0.6%	▲0.3%

2012年度決算 受注高



2012年度決算 売上高と営業利益

■売上高



■営業利益



2012年度決算 セグメント別

(億円)

		環 境	プ ラ ン ト	機 械	プ ロ セ ス 器	イ ン フ ラ	精 密 機 械	そ の 他	計
2012年度 実績	受注高	2,160	551	475	163	209	183	87	3,828
	売上高	1,404	407	537	101	265	167	86	2,967
	営業利益	103	3	19	1	▲23	1	9	113
2011年度 実績	受注高	1,369	355	450	113	300	211	99	2,897
	売上高	1,281	379	629	102	275	265	99	3,030
	営業利益	84	9	24	▲1	▲40	27	10	113
比較	受注高	791	196	25	50	▲91	▲28	▲12	931
	売上高	123	28	▲92	▲1	▲10	▲98	▲13	▲63
	営業利益	19	▲6	▲5	2	17	▲26	▲1	0

2012年度決算 営業損益増減内訳

		(億円)
2011年度 営業損益		113
増減内訳	・売上高減(▲63億円)	▲11
	・一般管理費の増加(人件費、開発費他)	▲6
	・精密機械部門の利益率低下	▲11
	・インフラ部門の構造改革進捗	6
	・コストダウン等	22
2012年度 営業損益		113

2012年度決算 営業外損益・特別損益内訳

(億円)

	2011年度	2012年度	比較
金利負担額 ※	▲12	▲11	1
持分法による投資利益	7	23	16
その他営業外損益	▲1	▲13	▲12
営業外損益計	▲6	▲1	5

(※) 受取利息・受取配当金から支払利息を引いたネットの金利負担額

特別利益	固定資産売却益	16	—	▲16
	訴訟損失引当金戻入益	11	—	▲11
特別損失	減損損失	—	▲17	▲17
	厚生年金基金脱退拠出金	—	▲8	▲8
	損害賠償金	▲6	—	6
	投資有価証券評価損	▲5	—	5
特別損益合計		16	▲25	▲41

2012年度決算 キャッシュフロー・有利子負債

(億円)

項 目		2011年度	2012年度	比較
キャッシュフロー	営業活動によるキャッシュフロー	146	96	▲50
	投資活動によるキャッシュフロー	▲46	▲135	▲89
	財務活動によるキャッシュフロー	11	▲78	▲89
	現金・現金同等物の増減額	(注1) 107	(注1) ▲104	▲211
	現金・現金同等物の期首残高	559	666	107
	現金・現金同等物の期末残高	666	(注2) 564	▲102

(注1)為替換算差額含む (2011年度;-4 2012年度;+13)

(注2)新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高(+2)を含む

(億円)

項 目		2012年 3月末	2013年 3月末	比較
有利子負債	借 入 金	(注3) 925	(注3) 926	1
	社 債	151	100	▲51
	合 計	1,076	1,026	▲50

(注3)リース債務を含む。

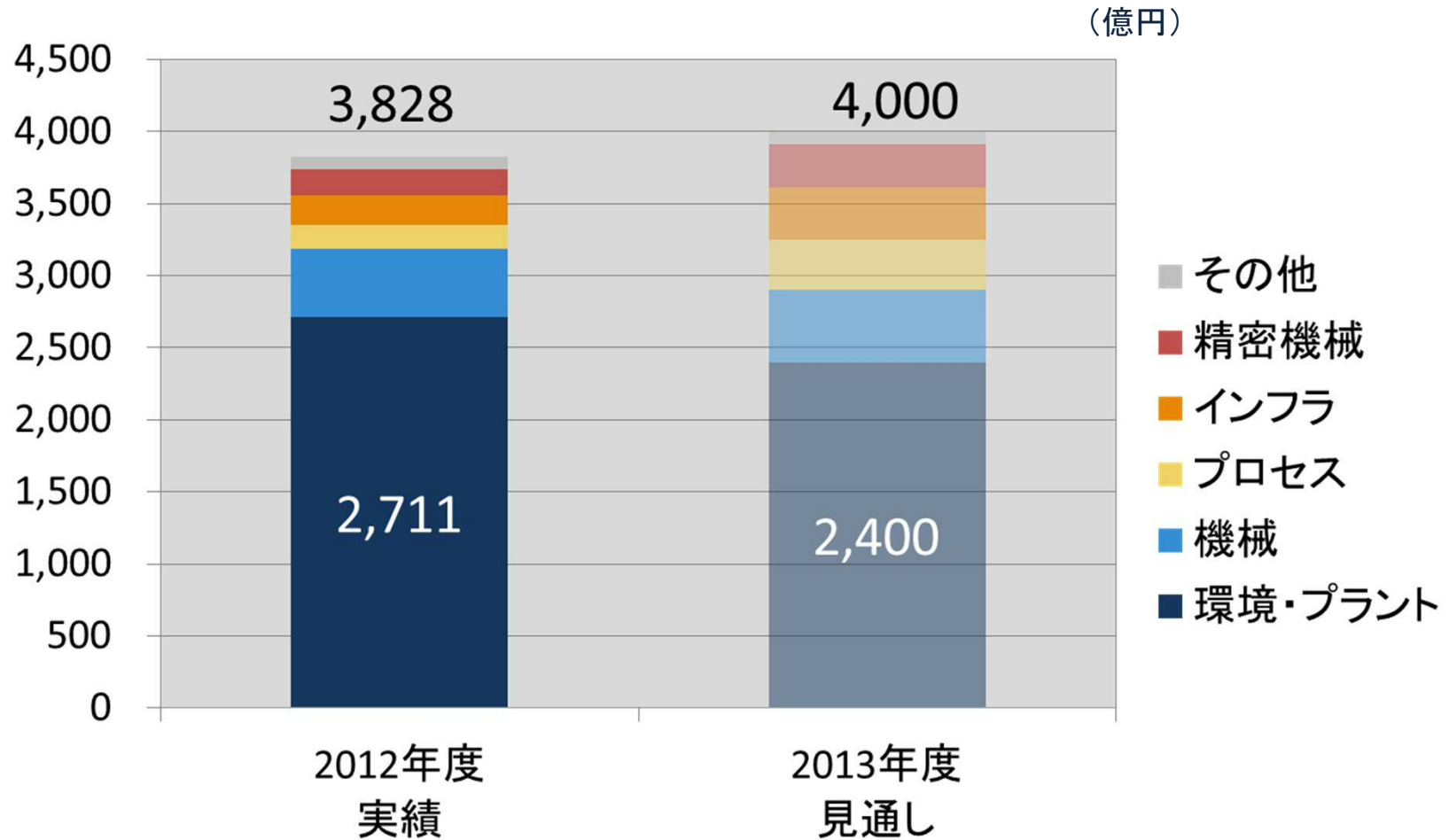
2. 2013年度業績見通し

2013年度見通し サマリー

(億円)

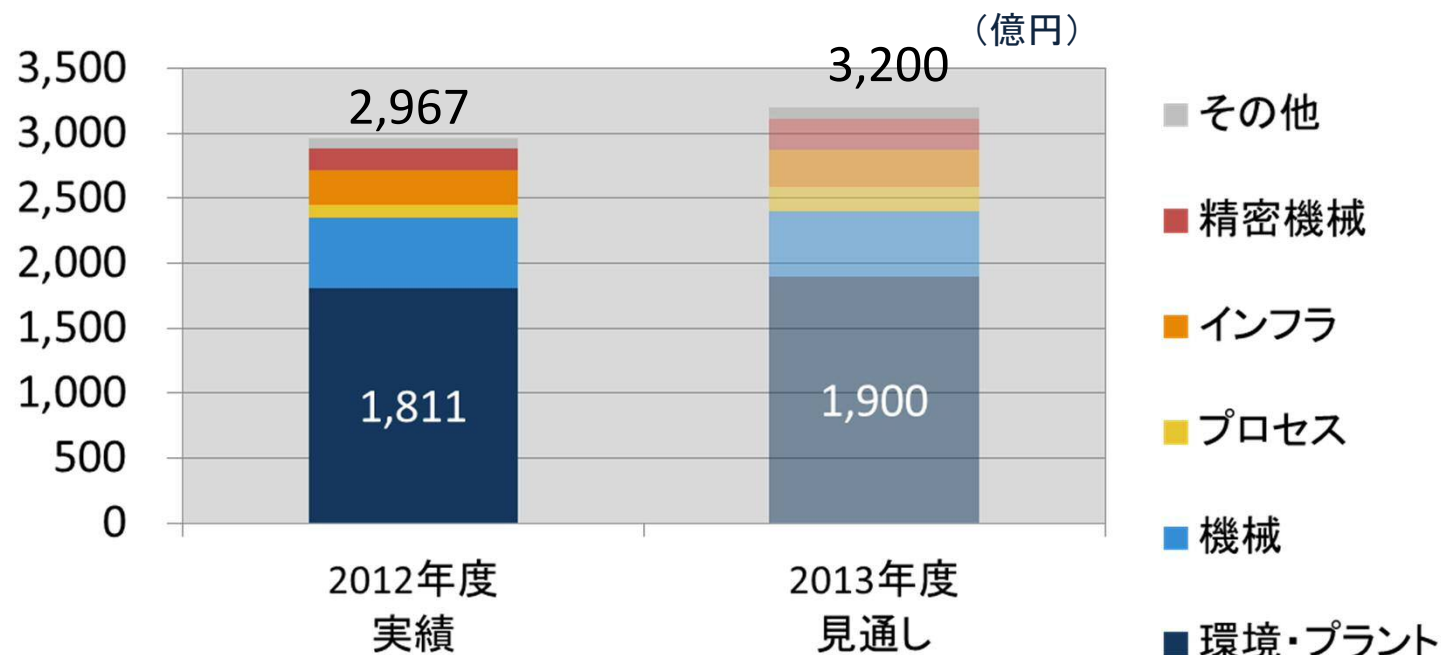
	2012年度 実績	2013年度 見通し	比較
受注高	3,828	4,000	172
売上高	2,967	3,200	233
営業利益	113	130	17
(営業利益率)	3.8%	4.1%	0.3%
経常利益	112	100	▲12
(経常利益率)	3.8%	3.1%	▲0.7%
当期純利益	74	75	1
(当期純利益率)	2.5%	2.3%	▲0.2%

2013年度見通し 受注高

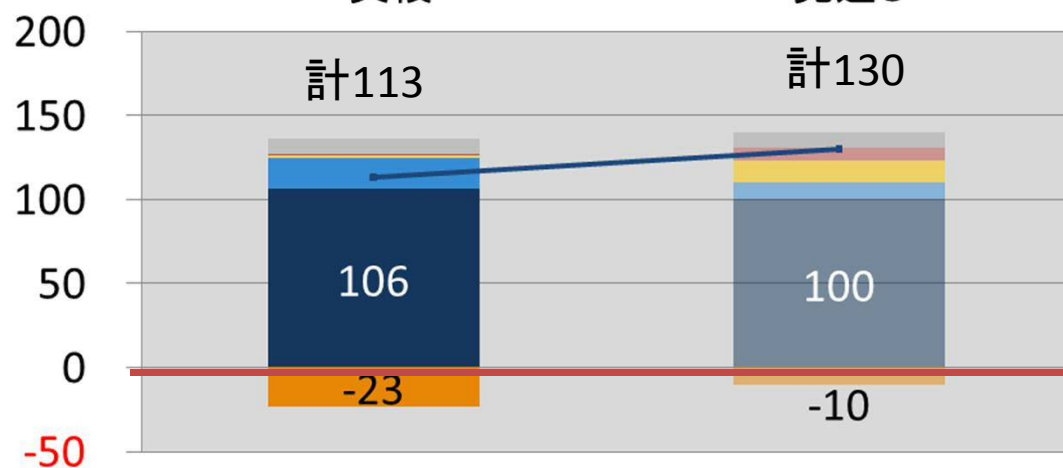


2013年度見通し 売上高と営業利益

■売上高



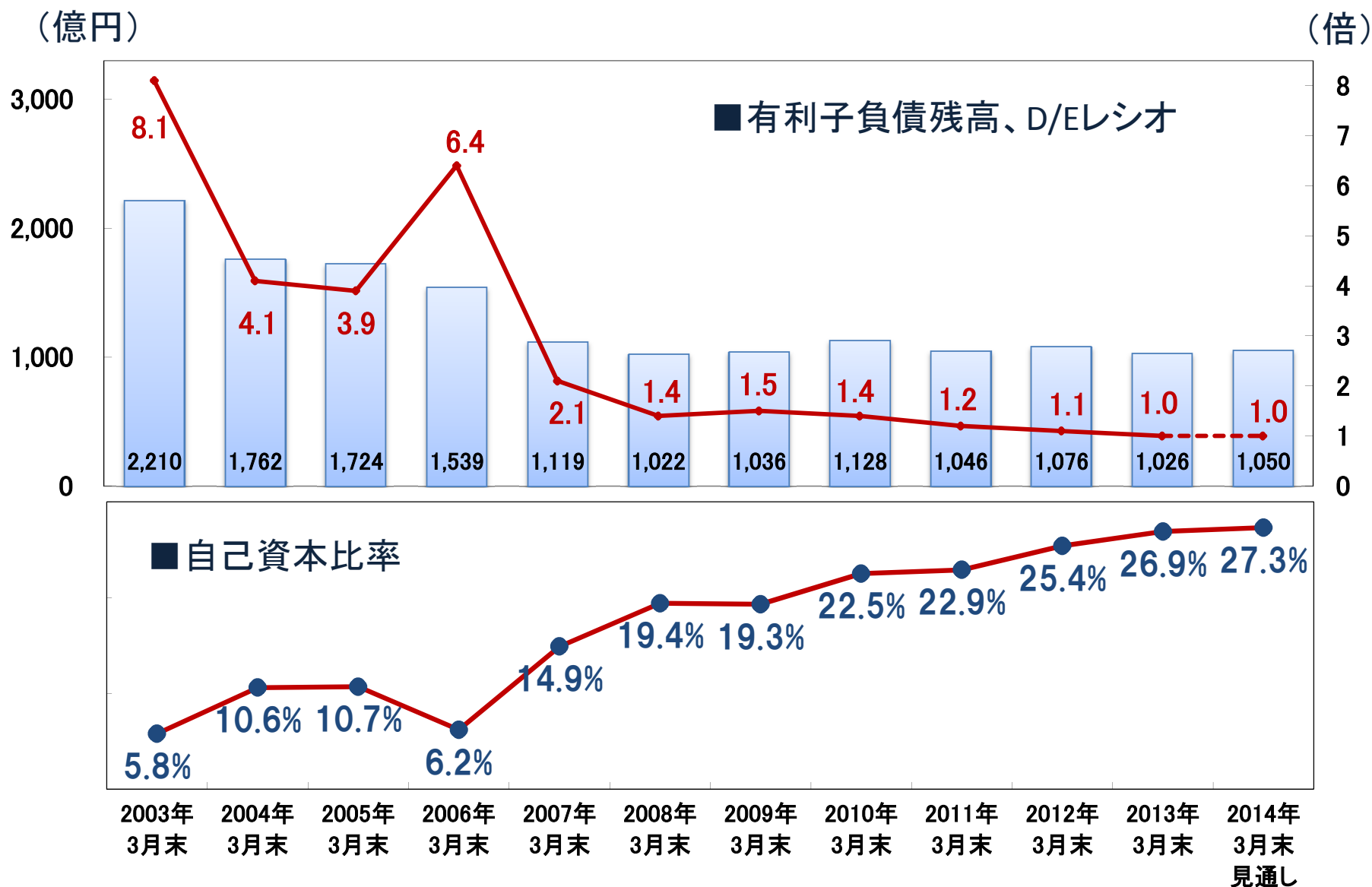
■営業利益



2013年度見通し セグメント別

		環 境	プ ラ ン ト	機 械	プ ロ セ ス	機 器	イ ン フ ラ	精 密 機 械	そ の 他	計
2013年度 見通し	受注高	2,400	500	350	360	300	90	4,000		
	売上高	1,900	500	190	280	240	90	3,200		
	営業利益	100	10	13	▲10	8	9	130		
2012年度 実績	受注高	2,711	475	163	209	183	87	3,828		
	売上高	1,811	537	101	265	167	86	2,967		
	営業利益	106	19	1	▲23	1	9	113		
比較	受注高	▲311	25	187	151	117	3	172		
	売上高	89	▲37	89	15	73	4	233		
	営業利益	▲6	▲9	12	13	7	0	17		

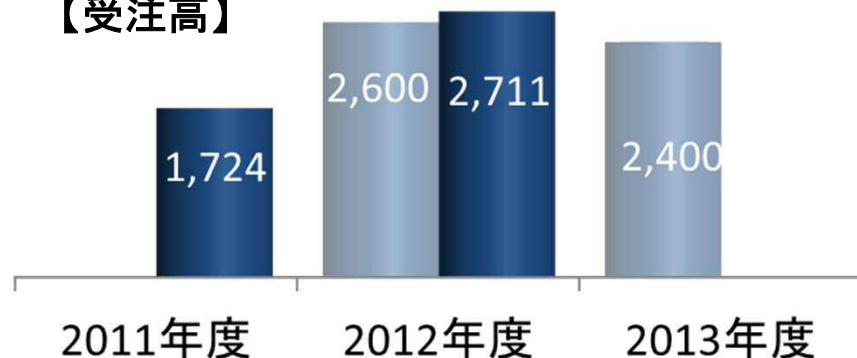
有利子負債残高、自己資本比率の推移



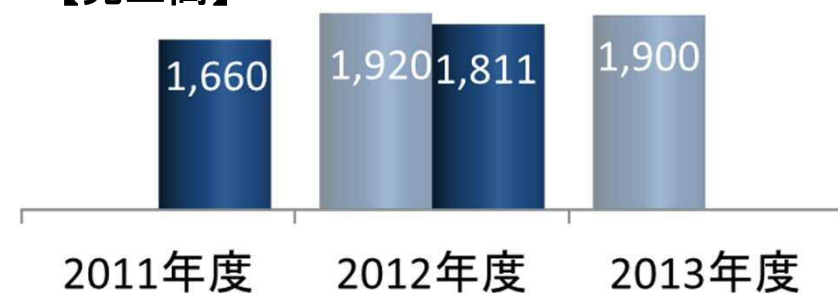
3. セグメント別詳細

■ 見通し ■ 実績 (億円)

【受注高】



【売上高】



【営業損益】



【受注高】

■ 2012年度実績(前年度比)

987億円増加の2,711億円

- ・ごみ焼却施設建設工事および長期運営工事の受注増
- ・カタール向海水淡水化プラント受注

■ 2013年度年間見通し(2012年度比)

約300億円減少の2,400億円

- ・国内ごみ焼却施設建設工事および長期運営工事の入札案件減少

【売上高/営業損益】

■ 2012年度実績(前年度比)

売上高: 151億円増加の1,811億円

営業損益: 13億円増加の106億円

- ・災害復興案件を含むごみ焼却施設建設工事の進捗が進む
- ・アフターサービス、長期運営案件の増加

■ 2013年度年間見通し(2012年度比)

売上高: 89億円増加の1,900億円

営業損益: 微減の100億円

- ・海水淡水化プラントの売上増加
- ・建設工事の利益率の低下

機械部門

■ 見通し ■ 実績 (億円)

【受注高】



【売上高】



【営業損益】



【受注高】

■ 2012年度実績(前年度比)

25億円増加の475億円

- ・自動車業界向けプレス機械の好調

■ 2013年度年間見通し(2012年度比)

25億円増加の500億円

- ・船用原動機の増加

【売上高/営業損益】

■ 2012年度実績(前年度比)

売上高: ▲92億円減少の537億円

営業損益: ▲5億円減少の19億円

- ・自動車業界向けプレス機械が好調だったものの、船用原動機が減少

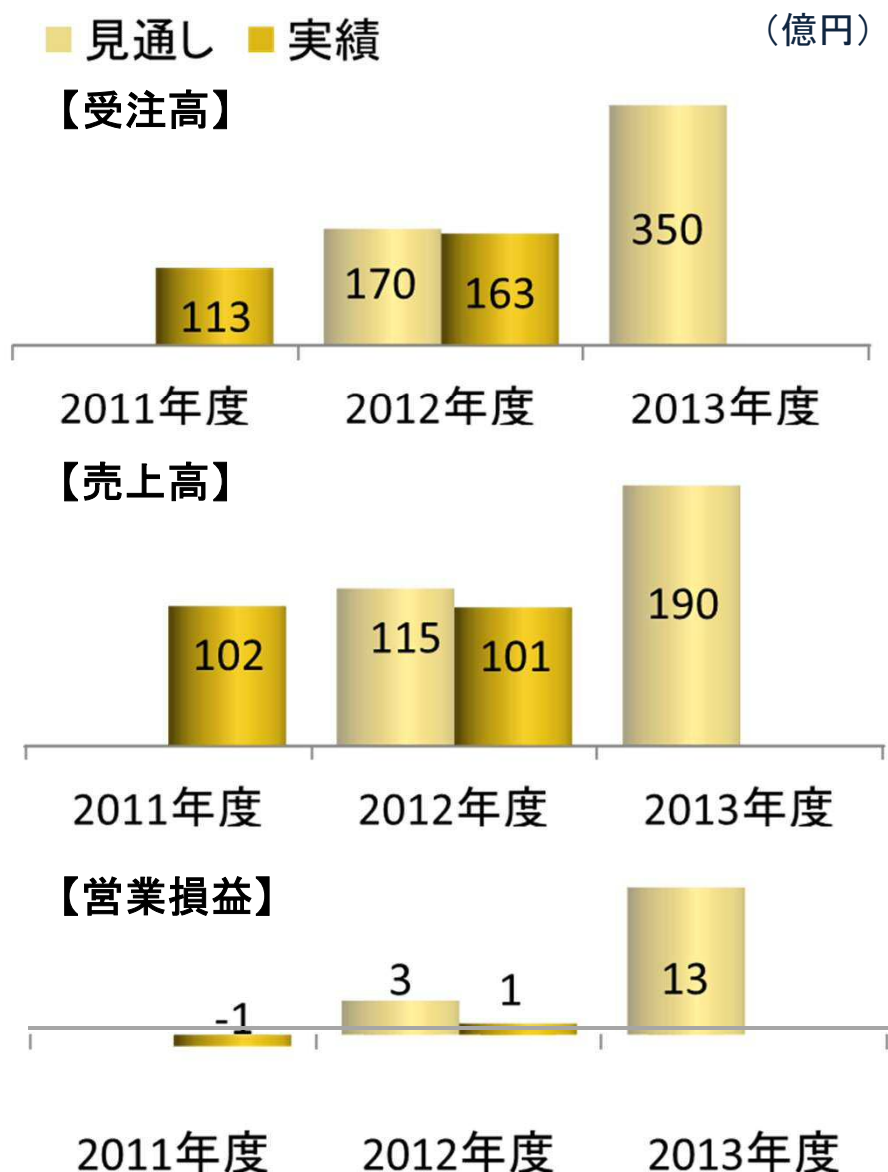
■ 2013年度年間見通し(2012年度比)

売上高: ▲37億円減少の500億円

営業損益: ▲9億円減少の10億円

- ・自動車業界向けプレスの減少
- ・船用甲板機械の受注減少

プロセス機器部門



【受注高】

■ 2012年度実績(前年度比)

50億円増加の163億円

・リアクターの好調

■ 2013年度年間見通し(2012年度比)

倍増の350億円

・リアクターの好調、および大口案件の時期ズレにより増加

【売上高/営業損益】

■ 2012年度実績(前年度比)

売上高: ほぼ横ばいの101億円

営業損益: 2億円増加し黒字化

■ 2013年度年間見通し(2012年度比)

売上高: 89億円増加の190億円

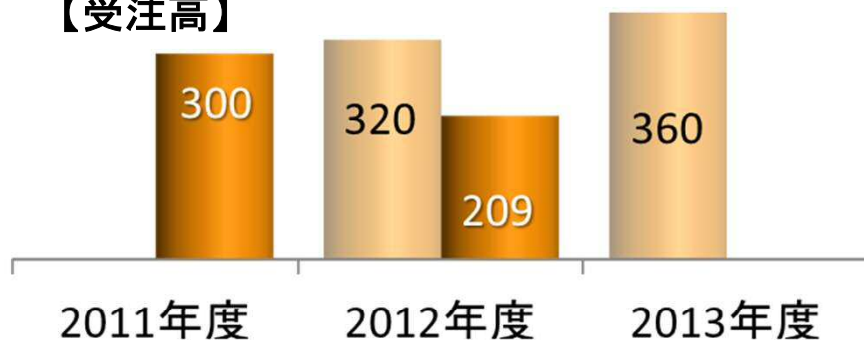
営業損益: 12億円増加の13億円

・リアクターの受注好調

インフラ部門

■ 見通し ■ 実績 (億円)

【受注高】



【売上高】



【営業損益】



【受注高】

■ 2012年度実績(前年度比)

▲91億円減少の209億円

・橋梁および煙突の不振

■ 2013年度年間見通し(2012年度比)

151億円増加の360億円

・シールド掘進機、新設橋梁、水門・鉄管の伸長

【売上高/営業損益】

■ 2012年度実績(前年度比)

売上高: ▲10億円減少の265億円

・橋梁および煙突の受注減少

営業損益: 17億円改善の▲23億円

・低採算工事の減少

・構造改革の進捗

■ 2013年度年間見通し(2012年度比)

売上高微増、赤字の減少

・新設橋梁、水門・鉄管の増加

・構造改革の継続

■ 見通し ■ 実績 (億円)

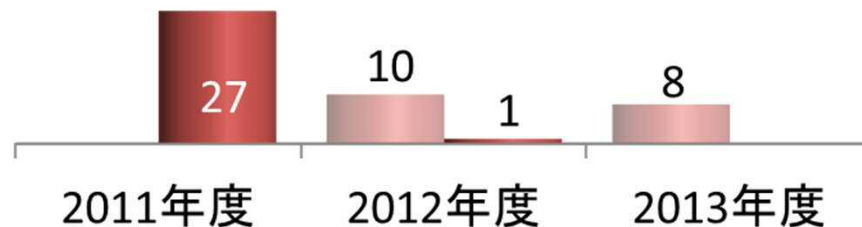
【受注高】



【売上高】



【営業損益】



【受注高】

■ 2012年度実績(前年度比)

▲28億円減少の183億円

- ・顧客業界の落ち込みの影響
- ・大口受注案件の期ズレ

■ 2013年度年間見通し(2012年度比)

117億円増加の300億円

- ・顧客業界の景気回復による受注環境の改善

【売上高/営業損益】

■ 2012年度実績(前年度比)

売上高: ▲98億円減少の167億円

- ・大口工事が昨年完工
- ・受注減の影響

営業損益: ▲26億円減少の1億円

- ・売上高減少および利益率の低下

■ 2013年度年間見通し(2012年度比)

売上高: 73億円増加の240億円

営業損益: 7億円増加の8億円

- ・顧客業界の景気回復による受注の増加を織込む

4. 中期経営計画「Hitz Vision」 の進捗状況

1. 中期経営計画「Hitz Vision」重点施策

事業の イノベーション	◆ 伸長分野の明確化		事業ドメインと事業マーケットの明確化
	◆ 事業伸長力の強化	◆ 海外事業展開力	海外事業推進本部の新設 海外拠点の拡充・整備
		◆ ソリューション提案力	顧客視点活動の推進 新開発体制への移行
	◆ 基礎的収益力の向上		バランス経営の推進
	◆ 各事業NO.1収益力		事業戦略のPDCAの徹底
経営管理の イノベーション	◆ 経営体制		フラット・マトリックス経営体制の推進
	◆ 財務体質		2013年度までに自己資本比率30% 外部格付けの向上
	◆ 将来収益につながる開発		新研究開発体制(開発本部) 営業企画部と開発本部の連携
	◆ 風土改革と人材育成		外向きで成長志向かつ業務の効率を重視する 企業風土の確立 業務・事業に主体的に取り組む人材を育成

2. バランス経営の推進

(億円)

	2010年度		2011年度		2012年度		2016年度	
国内事業	2,375	83%	2,270	75%	2,242	76%	3,000	60%
海外事業	496	17%	757	25%	717	24%	1,500	30%
新事業・新機種	—	—	3	0%	8	0%	500	10%
合計	2,871	100%	3,030	100%	2,967	100%	5,000	100%
内 アフターサービス等	1,155	40%	1,205	40%	1,273	43%	2,500	50%

【海外事業】

17%→30%

【新事業・新機種】

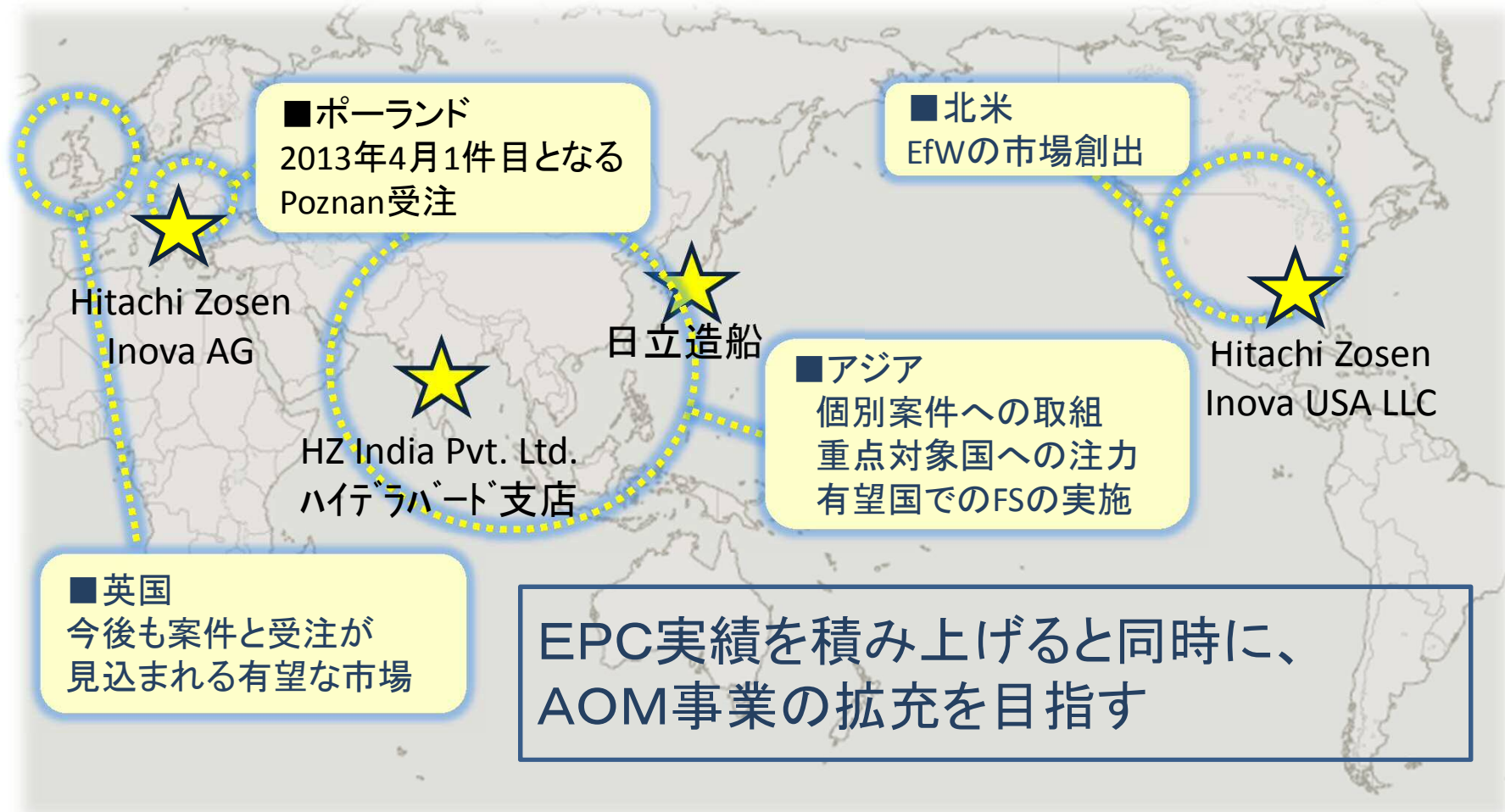
500億円

【アフターサービス等】

40%→50%

3. 海外事業の推進(1)

【海外事業】 EfWの世界戦略

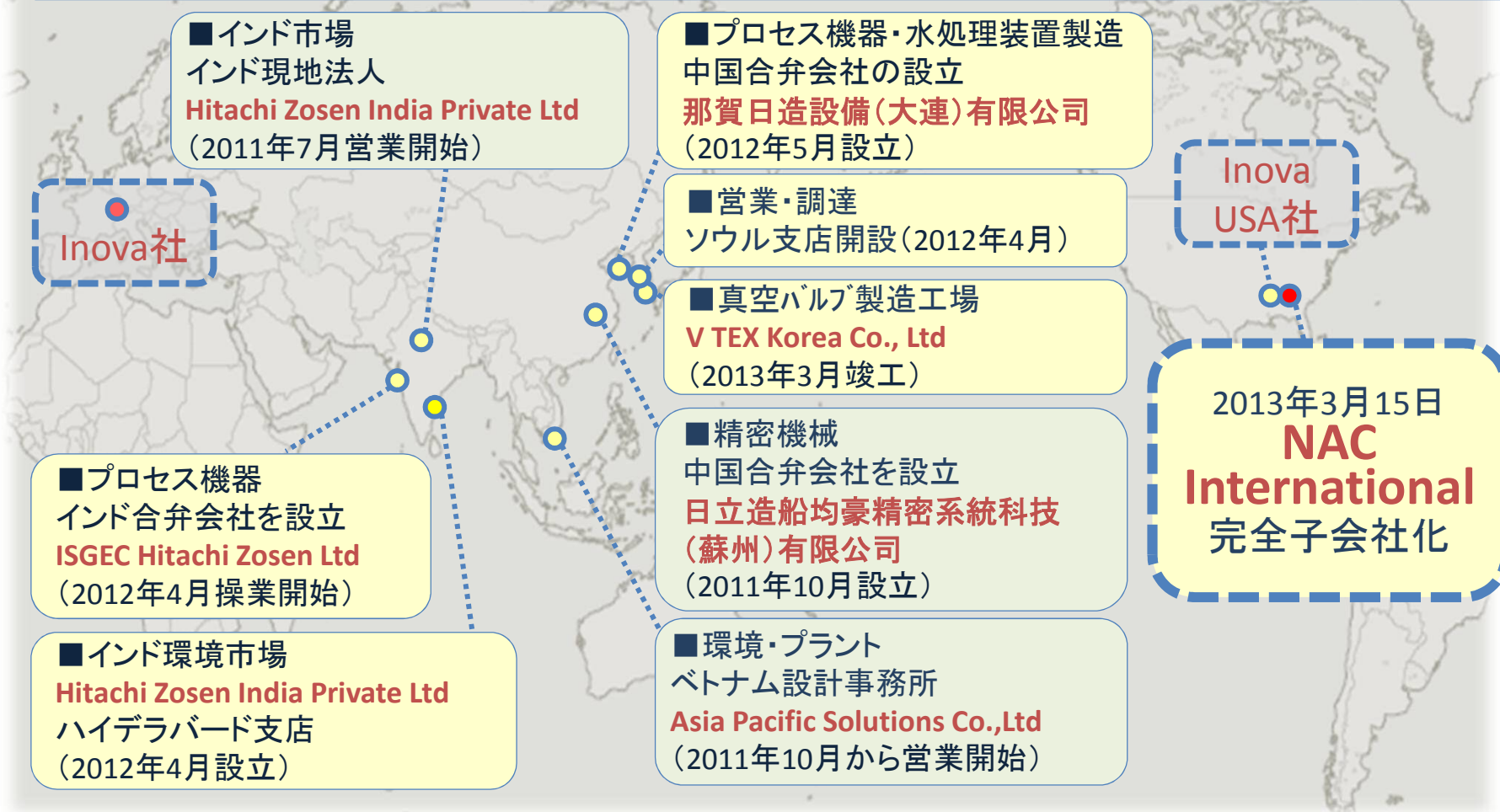


EfW: Energy from Waste

AOM: After service, Operation, Maintenance

3. 海外事業の推進(2)

【海外事業】 海外拠点の拡充



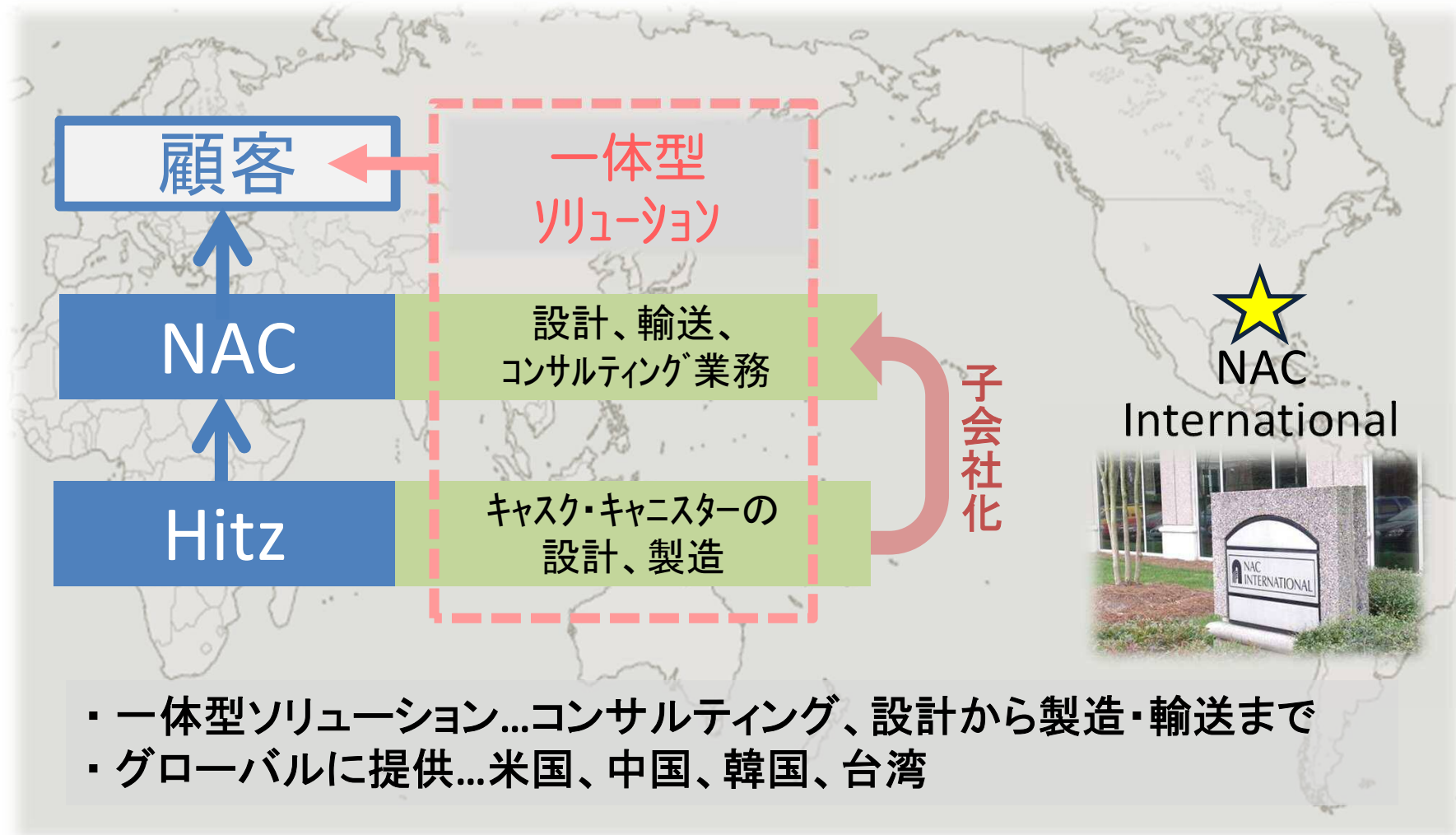
■ 中期経営計画2011年～現在までの取組

2011年度

2012年度

3. 海外事業の推進(3)

【海外事業】 NAC社の完全子会社化

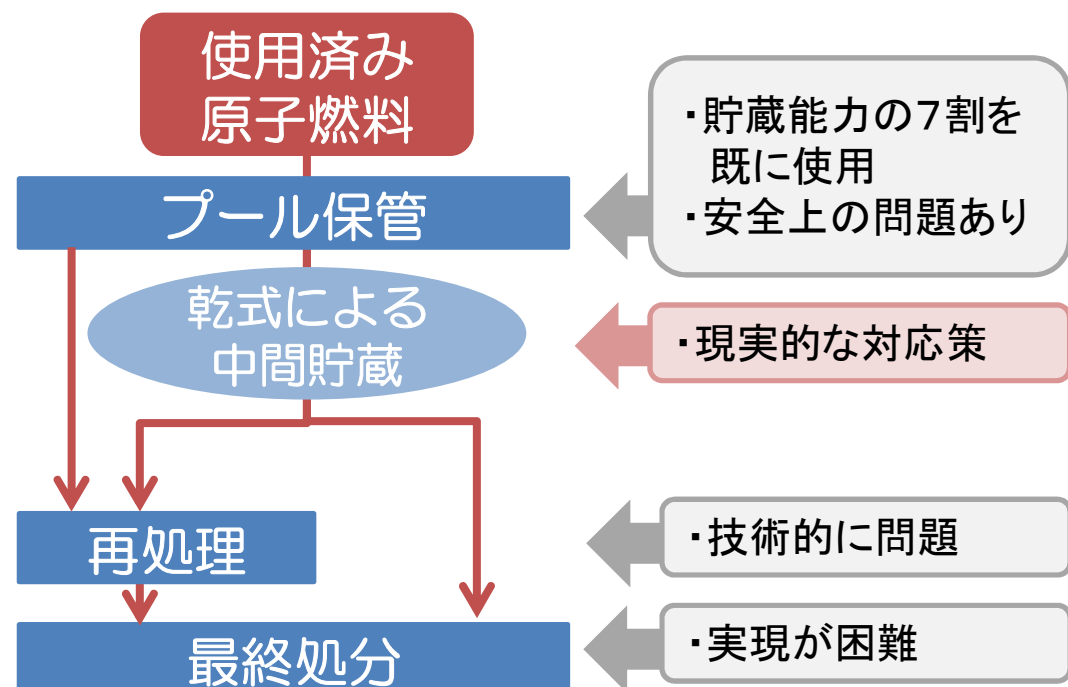


使用済み原子燃料貯蔵の需要

＜使用済み原子燃料の課題＞

原子力ゼロでも、使用済み燃料の問題は残る

【日本】



【米国】

2025年までに集中中間貯蔵施設を、2048年までに最終深地層処分場を計画。

【中国】

原子力発電の開発拡大路線。将来は使用済み原子燃料の処分が必

【韓国】

積極的な原子力発電の開発を継続、サイト内貯蔵容量が2016年に飽和状態になる見込み。

【台湾】

原子力の依存度を低減する方針であるが、使用済み原子燃料の処分は必要。

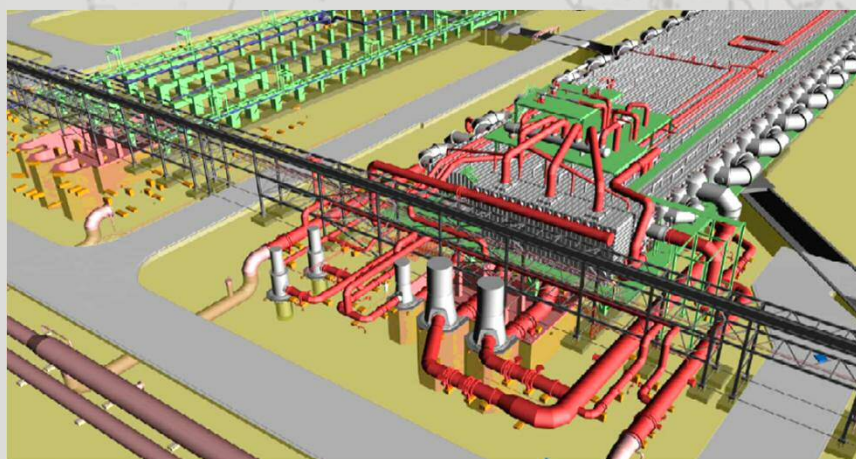
貯蔵容器の需要が確実に見込まれる

3. 海外事業の推進(4)

【海外事業】 海外大型工事

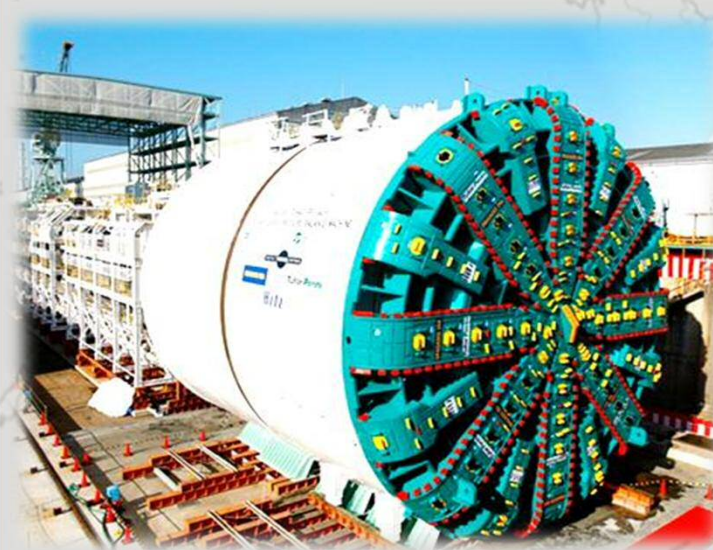
カタール向け大型海水淡水化プラント

多段フラッシュ法 (MSF法: Multi-Stage Flash)
約16万4,000t/日 (約8万2,000t/日 × 2基)



シアトル市向けシールド掘進機

Φ17.45m泥土圧シールド掘進機
全長約110m、重量約7,000t



4. アフターサービス等の拡充(1)

【アフターサービス等】 アフターサービスの規模拡大

(億円)

区分	2010年度 売上高	2011年度 売上高	2012年度 売上高	2016年度 目標
環境	563	631	697	—
プラント	148	146	155	—
機械・インフラ ・精密	150	125	131	—
その他サービス	294	303	290	—
合計	1,155	1,205	1,273	2,500
売上高比	40%	40%	43%	50%

4. アフターサービス等の拡充(2)

【アフターサービス等】 ごみ焼却施設(AOM+長期運営)

■ 国内

AOMおよび長期運営を増やし、収益基盤を構築

- ・新規
- ・既設...当社納入施設196施設(H25年度3月末稼働中)
(ごみ焼却施設123施設、リサイクル施設73施設)

現在の長期運営27施設(稼働中21施設、建設中6施設)

■ 海外AOM事業の拡充を目指す

- ⇒中国AOM検討対象施設9施設(建設中7施設)
- ⇒欧州でのAOMを模索

5. 新事業・新機種の拡大

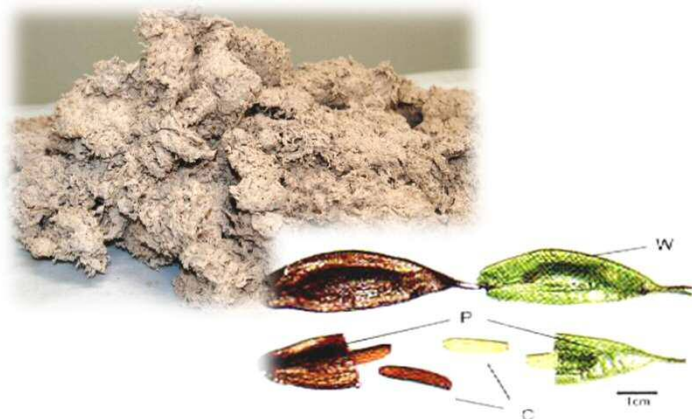
【新事業・新機種】

■新素材：トチュウエラストマー

・トチュウエラストマーの 生産技術を確立

<トチュウエラストマー>

：植物由来のトランス型ポリイソプレンで
あり、かつ高分子のため、機能性素材
としての活用が期待される



■新素材：カーボンナノチューブ

・垂直配向性カーボンナノ チューブの量産技術を開発 ロールtoロール方式の連続製造方式



6. 「Hitz Vision」計数計画

(億円)

	2011年度			2012年度			2013年度	
	Hitz-V 計画	実績	達成度	Hitz-V 計画	実績	達成度	Hitz-V 計画	見通し
受注高	3,700	2,897	78.3%	4,400	3,828	87.0%	5,000	4,000
売上高	3,100	3,030	97.7%	3,400	2,967	87.3%	4,000	3,200
営業利益 (営業利益率)	140 (4.5%)	113 (3.7%)	80.7%	155 (4.6%)	113 (3.8%)	72.9%	200 (5.0%)	130 (4.1%)
経常利益 (経常利益率)	130 (4.2%)	107 (3.5%)	82.3%	135 (4.0%)	112 (3.8%)	82.3%	160 (4.0%)	100 (3.1%)
当期純利益	100	93	93.0%	105	74	71.5%	115	75
有利子負債 残高	1,144	1,076	—	1,000	1,026	—	1,000	1,050
自己資本 比率	24.2%	25.4%	—	29.1%	26.9%	—	30.0%	27.3%